

『 自分も大切・相手も大切 』

藤枝市立藤枝小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を迎える週間 ・校内子ども会 ・委員会活動 ・春の蓮華寺池活動 	<p><u>出会いと仲間のステージ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や学校生活を通して、クラスや学年の友だちのことを知って<u>絆をつくる</u>。 ・ペア活動や運動会を通して、異学年交流の機会を持ち、ペアや他学年の友だちと<u>絆をつくる</u>。 <p>【人間関係プログラム出会い、聴き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつゲーム ・上手に聴けるかな 	<p>重点目標「自分も大切（自立）相手も大切（共生）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での提案 ・特別活動の年間の流れに沿った掲示（子どもの見通し） ・各クラスのピア・サポートの活動共有 ・行事の振り返りから見られたピア・サポートの掲示（通年） ・1年間の取り組みのまとめ
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・委員会活動 		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動 ・委員会活動 ・クラブ活動 ・授業を見合う週間 		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動 ・5年自然教室 ・児童会企画（テーマ「友達を大切に」） 	<p><u>実りのステージ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期の活動をふり返り、後期をよりよい活動にする。 ・前ステージのペア活動や蓮華寺池活動のふり返りを生かし、さらにペアとの<u>絆を深める</u>。 ・学年行事を通して、クラスや学年の友だちの良さをさらに見つけ、<u>絆を深める</u>。 <p>【人間関係プログラム自己表現、対処・対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの伝え方を知ろう ・今の私の気持ちは何色？ 	
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動（前期まとめ） ・ペア活動 	<p><u>感謝のステージ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間をふり返り、次の学年への準備をする。 ・お世話になった友だちやペアの子に、感謝の気持ちを伝える。 ・「6年生ありがとうの会」を通して、学校のリーダーとして引っ張ってくれた6年生に感謝を伝える。 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動 ・ペア活動 ・音楽発表会 ・クラブ活動 		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の蓮華寺池活動 ・委員会活動 ・クラブ活動 ・音楽鑑賞 ・6年修学旅行 		
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動 		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童会活動 ・委員会活動 		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動 ・委員会活動 ・6年生ありがとうの会 		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動（ペアさんに感謝を伝える） 		

絆づくり

絆を深める

1 本校のピア・サポート

本校では、学校教育目標『自立 夢 思いやり』、重点目標『自分も大切・相手も大切』を掲げている。特に『自分も大切・相手も大切』の合言葉は、授業や生活の中でよく使われる言葉で、子どもたちも職員も意識して様々な活動に取り組んでいる。また、児童会では毎年「今年度の藤枝小はどんな学校にしたいか」について話し合い、「児童会テーマ」という合言葉を決めている。本年度は『笑顔あふれた楽しい明るい藤枝小』を掲げ、友だちとの関わりを考えた活動を実施している。

2 本年度の取組

(1) 授業において

○『自分も大切・相手も大切』にした聴き方・話し方〈提言1〉

自分の思いが伝わるように話したり、発表している子が聴いてもらえていると感じてもらえるような聴き方をしたりするよう、授業内で指導を行っていた。個人や学年の雰囲気など差があれど、『自分も大切・相手も大切』を意識して授業に取り組んだ。

また、「授業を見合う週間」を設定し、子ども達が授業を参観することで、他のクラスの子の良さや、自分のクラスの良さを見つけ、今後の授業づくりに活かす場を設定した。基本は学年内で授業を見合ったが、異学年で見合った所もあった。1年生の机の上を見た6年生が「初心に戻って整頓しないと」という振り返りがあり、聴き方・話し方だけではなく、環境を整えることも学ぶなど、自分と相手を大切にしたい行動について発見・再認識することができた。

(2) 特徴的な活動

ペア学年同士の関わりだけではなく、全校ペア活動の時間があり、異学年の交流を学校全体で推進している。

○蓮華寺池活動〈提言4〉

本校では、春と秋の2回、学校のすぐ近くにある蓮華寺池公園で、ペアと遊んだりお弁当を食べたりする全校ペア活動の時間を設定している。上の学年の子が事前に計画を立てたり、歩く時に歩道の外側を歩いたり、優しい言葉で話しかけたり等、『相手も大切』にした姿がたくさん見られた。

○全校児童会活動〈提言4〉〈提言6〉

児童会が主催となって、各クラスが考えたミッション（クイズやチャレンジゲーム）をペアさんと協力して校内を回る全校ペア活動の時間。活動終了後、児童会から本年度の児童会テーマについて再確認したり、学校生活をより良くするための呼びかけのスライドを流したりした。『自分も大切・相手も大切』にした行動ができているか振り返るアンケートを取り、普段の生活を見直す場も設定している。

3 本年度の成果と来年度に向けて

本年度も、授業や行事、特別活動を通して、クラスの友だちや他学年の子を大切にしている姿を多く見られた。しかし、個人・学年によっては、もっとピア・サポートが溢れる姿になって欲しいと思うこともあった。

研修部の話し合いにおいて、来年度は『自分も大切・相手も大切』を授業の中でよりプッシュしていく方針になっている。各ステージでの個人のためを決める際、『自分も大切（自分の力を高める）』と『相手も大切（授業の中で友だちを大切にしている行動）』について書くスペースを用意し、子ども達の「個人の意識」をより高めていきたい。